

RACING PROGRAM

東京競馬場・京都競馬場・福島競馬場

レーシングプログラム

出走馬一覧表

2024.11.9

東京中日スポーツ杯武蔵野ステークス[GⅢ]

京都ジャンプステークス[J・GⅢ]

デイリー杯2歳ステークス[GⅡ]



未来へ、走り続ける。



エリザベス女王杯 ラッキーライラック



JRA 70th Anniversary メモリアルヒーロー

HERO IS COMING.

前日発売

エリザベス女王杯[GⅠ]

福島記念[GⅢ]

第49回エリザベス女王杯(GI)

2200m(芝・右・外)Bコース使用

発走15時40分

このカラー版出馬表の内容は11月8日12時00分現在のもので、その後に出走取消、騎手変更等が生じる場合がありますのでご注意ください。

Main table containing race details: 枠番 (Saddle Number), 馬番 (Horse Number), 父馬名 (Sire Name), 母馬名 (Dam Name), 勝負服 (Silks), 性齢毛色 (Sex/Age/Color), 騎手名 (Jockey Name), 馬主名 (Owner Name), 調教師名 (Trainer Name), 過去3走成績 (Past 3 Race Results).

※ブレーティングは、原則としてGI~JpnI競走は6着まで、その他の重賞・オープン競走は4着までのレーティング値が対象となります。レーティングの詳細につきましては本誌中面に掲載しております。

ラッキーライラック

32,397票



「牝馬の時代」に成した連覇

同期にはアーモンドアイ、ノームコア。1歳下にクロノジェネシス、ラヴズオンリーユー、グランアレグリア。1歳上にはリスグラシュー。牝馬を凌駕する走りでも牝馬たちが頂点で鎬を削り合った2020年前後は、まさに「牝馬の時代」と呼ぶにふさわしかった。そんな中で20年の大阪杯を勝利し、19、20年のエリザベス女王杯を連覇したのがラッキーライラックだった。

オルフェーヴルの初年度産駒としてデビューし、阪神ジュベナイルフィリーズで2歳女王に輝いたラッキーライラック。三冠はすべてアーモンドアイの2、3、9着と敗れたが、世代における牝馬中心勢力として戦い続けた。4歳春もマイル路線で苦戦が続いたが、その秋、距離を延ばすと真価を発揮。エリザベス女王杯では1、2番人気こそラヴズオンリーユー、クロノジェネシスの3歳勢に譲ったが、インから上がり3ハロン推定32秒8の末脚で突き抜け、久々のGI制

覇を果たした。

5歳となった2020年、中山記念の2年連続2着から向かった大阪杯で、ラッキーライラックはクロノジェネシスを競り合いの末にクビ差で下し、3つ目のGIタイトルを獲得した。続く宝塚記念はそのクロノジェネシスの6着、札幌記念はノームコアの3着。そしてこの年は阪神での開催となったエリザベス女王杯に、連覇をかけて臨んだ。

ノームコアが作る緩みのないペースを、1番人気のラッキーライラックは後方を追走。3コーナー過ぎから大外を回ってぐんぐん上昇していった。まるで全馬を力でねじ伏せるような走りでも先頭に並びながら直線に向くと、一気に突き放しにかかる。最後は後方からサラキアとラヴズオンリーユーが並んで追い込んできたが、それらをクビ差抑えてゴール。連覇はメジロドーベル、アドマイヤグルーヴ、スノーフェアリーといった錚々たる女王たちに続く、史上4頭目の快挙だった。

その次走、ラッキーライラックは有馬記念でクロノジェネシスの4着。「牝馬の時代」にその存在感を強く残した1頭であった。

第45回 エリザベス女王杯(GI)

2020年11月15日 阪神競馬場 2200m(芝・右) 晴・良 18頭

着順	馬名	性齢	斤量	騎手名	調教師名	タイム/着差	人気	通過順位
1	ラッキーライラック	牝5	56	C.ルメール	松永 幹夫	2:10.3	①	12 12 11 ③
2	サラキア	牝5	56	北村 友一	池添 学	クビ	⑤	14 14 15 12
3	ラヴズオンリーユー	牝4	56	M.デムーロ	矢作 芳人	クビ	③	11 11 13 ⑧

第44回 エリザベス女王杯(GI)

2019年11月10日 京都競馬場 2200m(芝・右・外) 晴・良 18頭

着順	馬名	性齢	斤量	騎手名	調教師名	タイム/着差	人気	通過順位
1	ラッキーライラック	牝4	56	C.スミヨン	松永 幹夫	2:14.1	③	7 ⑧ ⑧ ⑧
2	クロコスミア	牝6	56	藤岡 佑介	西浦 勝一	1 1/4	⑦	1 1 1 1 1
3	ラヴズオンリーユー	牝3	54	M.デムーロ	矢作 芳人	クビ	①	2 ② ② ②

ラッキーライラック Lucky Lilac 2015年4月3日生 牝 栗毛

父:オルフェーヴル 母:ライラックスアンドレース 母の父:Flower Alley
生産:安平・ノーザンファーム 馬主:有限会社 サンデーレーシング
通算成績:19戦7勝(うち海外1戦0勝)

主な勝ち鞍

- 2020年 エリザベス女王杯(GI)、大阪杯(GI)
- 2019年 エリザベス女王杯(GI)
- 2018年 チューリップ賞(GII)
- 2017年 阪神ジュベナイルフィリーズ(GI)、アルテミスS(GIII)



2020年大阪杯(GI)

メモリアルヒーローファン投票結果

2023年に行った70周年メモリアルヒーローファン投票、本競走の結果は以下の通りです。
1位:ラッキーライラック(32,397票)



2位 スノーフェアリー **22,561票**



2011年の本競走、最後の直線。自慢の末脚で勝利を奪ったのがスノーフェアリーだった。前年も優勝しており、外国調教馬唯一のJRA同一平地GI競走連覇を成し遂げている。

3位 リスグラシュー **18,093票**



2018年の優勝馬。出走メンバー中唯一となる上がり3ハロン推定33秒台の切れ味で他馬を抜き去り、最後は逃げ粘るクロコスマアをクビ差交わして優勝した。

4位 ヒシアマゾン **15,605票**



1994年の本競走でオクス馬チョウカイキャロル、アグネスパレードとの末脚勝負を制したのがヒシアマゾン。重賞6連勝で女王の座についた。当時の本競走は3歳牝馬限定戦。

5位 ダイワスカーレット **15,431票**



2007年の優勝馬。抜群のスタートから先頭を進むと、最後の直線でも余裕の走りで前年、前々年の覇者フサイチパンドラ、スイープトウショウを完封した。



特設サイト